



1 3 橋りょうや道路などに対する防災・減災対策の推進 (国土交通省)

自然災害の猛威に対応するための避難・物資運搬を担う道路網の確保、山間部と市街地とを結ぶ地域住民の生命線である道路機能の確保など、市民の安心・安全を最大限確保する防災・減災対策を推進していくため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 橋りょうの耐震化や老朽化対策に必要な財源の確保
- (2) 道路の防災機能強化に必要な財源の確保
- (3) 道路ストックの老朽化対策に必要な財源の確保
- (4) 道路の維持管理に必要な国庫補助制度の創設



橋りょうや道路などに対する防災・減災対策の推進

橋りょうの耐震化、老朽化対策と道路の防災対策及び道路ストックの老朽化対策による住民の生命線の確保

- 平成23年12月に、「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」を策定
対策が必要な橋りょう296橋のうち、**平成28年度までに51橋の対策完了を目指す**
- 災害時のルート確保のため、道路防災の対策が必要な**419箇所**の対策を実施予定
あわせて、緊急輸送道路ネットワークの増強に寄与する幹線道路(鴨川東岸線等)の整備を推進
- 多くの道路ストック(トンネル、横断歩道橋等)の老朽化対策を実施予定
平成27年3月に、「トンネル長寿命化修繕計画」を策定。**平成29年度までに、対策が必要な13箇所の完了を目指す**
- 高齢者に優しいまちづくりを見据え、**役割を終えつつある横断歩道橋の原則撤去**。存続の必要があるものについては景観に配慮した補修を目指す
- 本市管理の**道路(約3,600km)の維持補修を実施**



橋げたの腐食

[老朽化が進行する橋りょう]



側壁付近の漏水

[老朽化が進行する道路ストック
(トンネルの壁面)]



老朽化した歩道橋

[老朽化した歩道橋の撤去]



護岸(擁壁)の補強

[防災対策を施した道路]



[鴨川東岸線の現況]

○平成28年度は、「橋りょう健全化プログラム」第1期最終年度に当たり、このプログラムの完遂のためには**平成28年度に約50億円の事業費が必要!**

○第1期プログラム終了後も、継続して取り組んでいく必要があり、対策が必要にも関わらず、やむを得ず先送りしている橋りょうも含めると、今後20年間で約600億円もの膨大な予算が必要!

○緊急輸送道路に面する斜面の防災対策をスピードアップするために、**約200億円以上の事業費が必要!**

○鴨川東岸線は、橋りょう上部工の連続的な施行のため、**残事業費約19億円の安定的確保が必要!**

○幹線道路以外の舗装道路(約2,300km)の維持補修を計画的に実施するには、**国庫補助制度の創設が必要!**